

令和5年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

市立大曲病院

事 業 説 明 書

病院事業会計

継 続	SDGs 関連目標	 3 子と元気で 健康な生活	 8 働きがいも 経済成長も	課所名：市立大曲病院 管理課
------------	--------------	---	---	----------------

『事業名』 **市立大曲病院事業（収益的支出）**

【R5年度】 **932,554** 千円 【R4年度】 **892,939** 千円 【増減額】 **39,615** 千円

※令和5年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			668,804	263,750

医業収益等

1. **P l a n**（計画：事業の目的及び目標）

- 目的：地域住民のこころの健康保持のため、精神医療を提供する。
 診療科目：精神科、神経科
 病床数：120床（精神科病棟70床、認知症病棟50床）
- 目標：入院 37,332人（1日当たり102人）年間366日 精神科病棟 22,692人（1日当たり62人）
 認知症病棟 14,640人（1日当たり40人）
 外来 14,580人（1日当たり60人）年間243日
 訪問看護 720人（1月平均60人）

2. **D o**（実行：これまでの実績と成果）

経営の安定化を図るため令和2年度末に策定した「市立大曲病院経営改革基本方針」に基づき、令和3年度は新患受け入れ体制の強化のため、外来看護科、地域連携・医療相談室及び医師事務支援室の新設、感染防止対策室を病院組織規則に明記し感染症拡大防止を図るなど組織の強化を図り、経営状態は向上した。令和4年度も引き続き経営状態は目標に近いものとなっているが、さらなる経営強化に向け市立大曲病院経営強化プラン審議委員会を立ち上げ、関係医療機関、福祉施設等との意見交換や分科会等で検討・作成した素案を審議し、令和5年度中のプラン策定を目指している。

3. **C h e c k**（評価：問題と課題）

市立大曲病院経営強化プランの策定項目になっている医師・看護師等の確保と働き方改革を進めるにあたり、当院の当直体制を整え早急に労働基準監督署から宿日直許可をもらう必要がある。

同じく策定項目になっている新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取り組みに関しては、今年度当院において新型コロナウイルス感染のクラスターが発生したことを受け、再発防止策を講じることが必要である。

4. **A c t**（改善：今後の方向性と令和5年度事業の概要）

- ・地域のニーズと時代に沿った持続可能な医療の提供体制が取れるよう、市立大曲病院経営強化プランを策定する。
- ・各福祉施設や医療機関、地域包括支援センターなど認知症の予防や支援を業務とする機関との連携を深め、市の認知症初期集中支援推進事業の一端を担い、専門病院として積極的な役割を果たしていく。

【収益的収支予算】

病院事業収益	941,917 千円	
医業収益	637,217 千円	（うち入院555,046千円、外来77,672千円）
医業外収益	304,700 千円	（うち一般会計負担金263,750千円）
病院事業費用	932,554 千円	
医業費用	917,172 千円	（うち給与費595,198千円）
医業外費用	12,682 千円	（うち企業債支払利息12,441千円）
特別損失	1,200 千円	
予備費	1,500 千円	

事 業 説 明 書

病院事業会計

課所名：市立大曲病院 管理課

継 続	SDGs 関連目標	 3 すべての人に健康と福祉を	 7 エネルギーと気候
------------	--------------	---	---

『事業名』 **市立大曲病院事業（資本的支出）**

【R5年度】 **311,375 千円** 【R4年度】 **331,541 千円** 【増減額】 **△ 20,166 千円**

※令和5年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	企業債	その他	一般財源
		159,700	57,425	94,250

過年度分損益勘定留保資金等

1. P l a n （計画：事業の目的及び目標）

- 目的：建物、設備等固定資産の改良を行い、地域住民に安定した精神医療の提供を行う。
- 目標：老朽化した施設設備の更新を行う。電子カルテ等デジタル化に向け準備する。

2. D o （実行：これまでの実績と成果）

令和3年度から4年度にかけ老朽化の著しい空調設備更新工事を行い、重油の消費量は更新前の5%減を見込んでいる。また、県の補助事業を活用し病棟の照明の一部についてLED化工事を行った。車椅子の患者が増えるなど患者層の変化に対応するため、病棟の多目的トイレの新設及び改修工事を行った。

3. C h e c k （評価：問題と課題）

平成8年12月の竣工から26年以上経過し、施設設備の更新が課題となっており、病院運営を継続しながら計画的に更新を行う必要がある。空調設備の更新については令和4年度で完了したが、自動火災報知設備の更新及び屋根の防水工事については令和5年度に取り組み予定である。その他の設備についても緊急度の高いものから順次更新を行う必要があるほか、国が進めている医療DXに対応するため電子カルテの導入等デジタル化へ向けた検討を行う必要がある。

4. A c t （改善：今後の方向性と令和5年度事業の概要）

- ・自動火災報知設備更新及び屋根の防水工事を行う。
- ・国が進める電子カルテ情報等の標準化並びに情報化基金による支援の動向を注視しながら、補正対応も視野に電子カルテ等導入に向けた検討を行う。

○自動火災報知設備更新

総事業費： 37,782 千円 財源：企業債 37,700 千円 償還期間： 10年

○屋根の防水工事

総事業費 122,064 千円 財源：企業債 122,000 千円 償還期間： 15年

【資本的収支予算】

資本的収入	253,950 千円	
出資金	94,250 千円	（一般会計繰入金）
企業債	159,700 千円	（自動火災報知設備更新、屋根防水工事）
資本的支出	311,375 千円	
建設改良費	161,094 千円	（自動火災報知設備更新及び屋根防水工事154,998千円ほか）
企業債償還金	149,781 千円	（H6, 7, 8年度借入分116,162千円、 R3年度借入分8,441千円、R4年度借入分19,602千円、 R5年度借入分5,576千円）
予備費	500 千円	

※収入が支出に不足する額 57,425 千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。